Kenko

ケンコー フルハイビジョンデジタルムービーカメラ

DVS A10FHDIR

取扱説明書

このたびはフルハイビジョンデジタルムービーカメラ「DVS A10FHDIR」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管してください。

目次

目次

はじめに

このたびは、フルハイビジョンデジタルムービーカメラ「DVS A10FHDIR」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。

■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。

安全上のご注意　必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠危 険	⚠警 告	⚠注 意
この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危 険

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警 告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）で 内蔵フラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

⚠ 警告

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所　●温度･湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。

■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

■付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

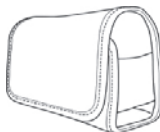
■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。

■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

■ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

セット内容

パッケージに、次の品目が同梱されていることを確認してください。
足りない品目や破損している品目がある場合、ただちに販売店に連絡してください。

カメラ本体
（ハンドストラップ取付済）

ポーチ

取扱説明書（本書）

USB-PC接続ケーブル

HDMI接続ケーブル

TV接続ケーブル

CD-ROM
（パソコンのソフトウェアが入っています）

リチウムイオン充電池

ACアダプター

クイックスタートガイド

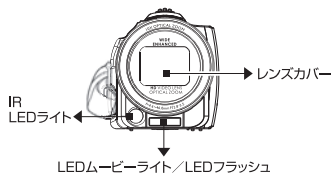
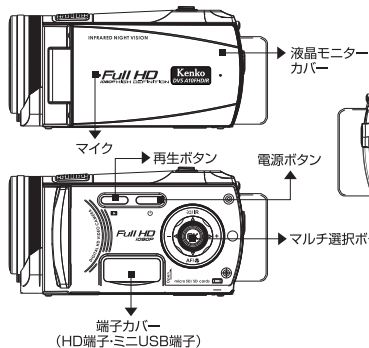
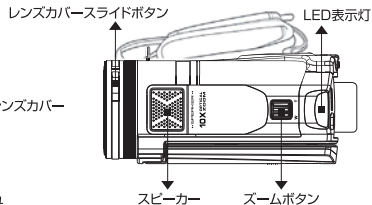
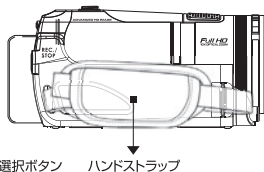
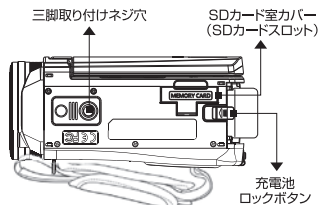
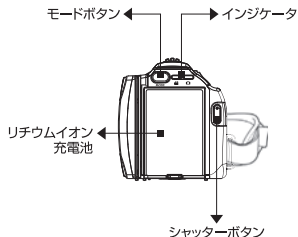
カメラの紹介

各部の名称

前面

上面

底面

左側面

右側面

後面

カメラの紹介

ボタンの機能を紹介します

ボタン	名　称	機　能
上▲ 左◀ ▶右 ▼下	マルチ選択ボタン	上ボタン　：各項目・設定時に上へ移動します。 動画・静止画撮影時、LEDムービーライト／IR LEDライト／LEDフラッシュのモードを切り替えをします。 下ボタン　：各項目・設定時に下へ移動します。 動画・静止画撮影時、AF設定の変更をします。 左ボタン　：各項目・設定時に左へ移動します。 右ボタン　：各項目・設定時に右へ移動します。 OKボタン：設定モード時に項目を選択します。 動画再生を開始します。
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	再生ボタン	再生モードにします。再度押すと撮影画面に戻ります。

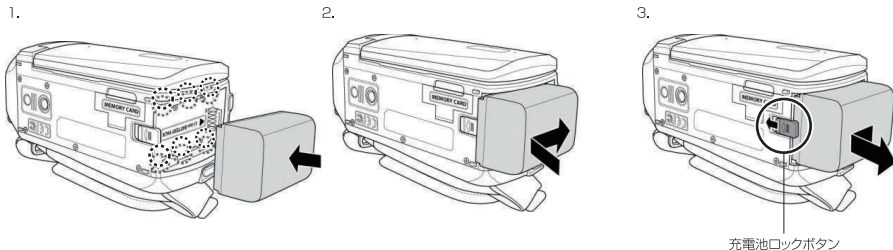
カメラの紹介

ボタン	名　称	機　能
MODE	モードボタン	押すごとにモードを動画・静止画 に切り替えます。
	シャッターボタン	動画モードで押すと動画を撮影します。再度押すと撮影を停止します。 静止画モードで押すと静止画を撮影します。
W　T	ズームボタン	動画・静止画撮影時に T側に押すとズームイン(拡大)、W側に押すとズームアウト(縮少)します。 動画・音声メモ再生時にT側に押すと音量が大きくなります。 W側に押すと音量が小さくなります。

充電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電池をセットします。

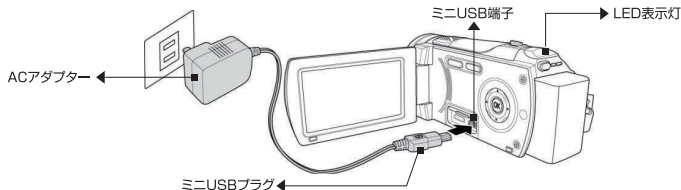
カメラに付属しているリチウムイオン充電池以外は使用しないでください。
電池の取り付け、取り外しは下図を参考に正しい方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ後面にリチウムイオン充電池を取り付けます。カメラ本体の点線部の凹みに、リチウムイオン充電池のツメが合うように嵌め込みます。
2. 図を参考にリチウムイオン充電池を矢印の方向にスライドしてセットします。
3. リチウムイオン充電池を取り外す場合は、充電池ロックボタンを ◀▮ 方向（レンズ方向）にスライドさせながら、
   リチウムイオン充電池を図のようにスライドさせて取り外します。

● 充電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
● 充電池は接点がカメラの上側になるように正しくセットしてください。

ご使用の前に

充電池の充電

充電池の充電は、付属のACアダプターを使用して行います。カメラの電源はオフにしてください。

カメラに充電池を取り付けます。P.11「充電池の取り付け」をご覧ください。
図のように端子カバーを電源ボタン方向にスライドして開きます。
ACアダプターのミニUSBプラグをカメラのミニUSB端子に接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。
カメラのLED表示灯が赤色に点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

◆ 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。 電池残量は目安になります。特に2目盛から急速に減りますのでご注意ください。

- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分以下です。
- 電池残量が少なくなりました。充電の準備をしてください。
- 「電池残量がありません」と表示されます。充電してください。

◆ 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長時間（およそ1ヶ月以上）使用しないときは電池を取り出してください。

◆ 付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとコンピューターに接続することで、充電池の充電をすることができます。
カメラの電源がオフの時にコンピューターに接続すると充電がはじまります。充電が開始されるとLED表示灯が赤色に点灯します。
充電が完了するとLED表示灯が消灯します。カメラの電源がオンの時にコンピューターに接続すると、USB-PCモードになります。

◆ 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

◆ 電池は充電されておりません。はじめてご使用になる時は、フル充電をしてからお使いください。

ご使用の前に

アルカリ乾電池に関する安全上の注意（対象:アルカリ乾電池使用カメラ）

警 告 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
　また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。

②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間（使用方法はおよそ1ヶ月以上）カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、
　失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。

⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

リチウムイオン充電池に関する安全上の注意（対象:リチウムイオン充電池使用カメラ）

警 告 付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器（ACアダプター）以外で充電しないでください。

②ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットはしないでください。

③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
　電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管･持ち運びの場合、安全のためビニール袋･プラスチックケース等に入れてください。

⑤リサイクルのお願い

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉
詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。
・ホームページ http://www.baj.or.jp/

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

－ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
－ 皮覆をはがさないでください。
－ 分解しないでください。

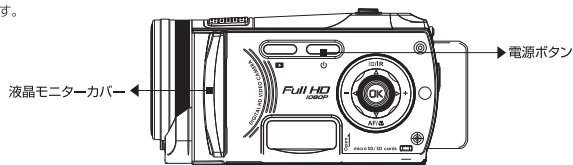
ご使用の前に

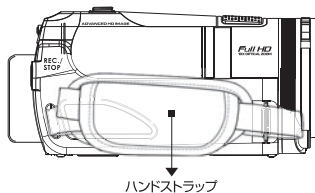
電源のオン／オフ

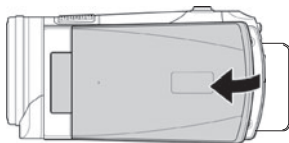
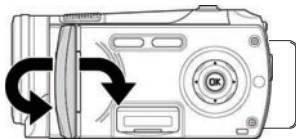
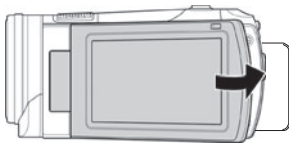
液晶モニターカバーを開くと電源がオンになります。

液晶モニターカバーを閉じると電源がオフになります。

電源ボタンを押すと電源がオンになります。

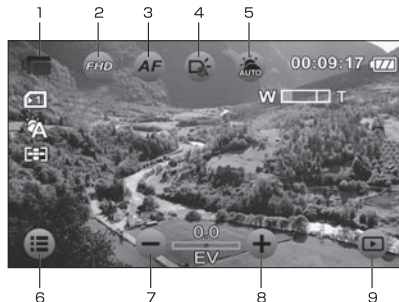
再度電源ボタンを押すと電源がオフになります。

ストラップ

カメラには予めハンドストラップが装着されています。

液晶モニターを使用する

動画·静止画撮影時、ファイルの再生時に液晶モニターの位値を調整します。
図を参考に矢印の方向に調整してください。

液晶モニターカバーを横方向に開きます。

液晶モニターの角度を調節します。
液晶モニターは被写体側に向けることもできます。
被写体側に向けた場合、画像は自動的に上下反転します。

液晶モニター面を上にして畳むこともできます。

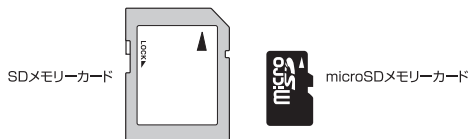
◆ 液晶モニターを無理に廻さないでください。破損する場合があります。

液晶モニターのタッチ機能

液晶モニターをタッチすると一部の設定が行えます。下記は動画モードでのサンプル画面です。

1. モード切り替えます。
2. 動画サイズの設定をします。
3. AF機能の設定をします。
4. IR／フラッシュモード切り替えます。
5. シーンモード切り替えます。
6. メニューモード切り替えます。
7. 一側に露出補正します。
8. ＋側に露出補正します。
9. 再生モードに切り替えます。

◆ 液晶モニターのタッチアイコン表示は約10秒経つと一部非表示になります。再度液晶モニターをタッチすると非表示になったアイコンが表示されます。

SD/SDHCメモリーカード(別売)・microSD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する場合

本カメラは、SDメモリーカード(別売)とmicroSDメモリーカード(別売)を同時に取り付けることができます。
SDメモリーカードとmicroSDメモリーカードをカメラ底面のSDカードスロットにセットして
撮影すると、撮影した動画･静止画は自動的に保存先指定したSDメモリーカードまたはmicroSDメモリーカードのいずれかに保存されます。

◆ 保存先指定方法はP.21「SDメモリーカード／microSDメモリーカード保存先指定」をご覧ください。

● このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB～2GB、SDHCメモリーカード4GB～32GB。
microSDメモリーカード128MB～2GB、microSDHCメモリーカード4GB～32GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

● SDメモリーカードは@(クラス)6以上を推奨します。

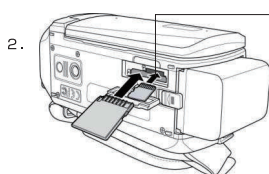
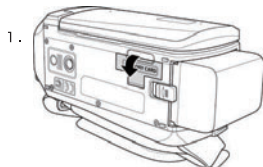
● 内蔵メモリーのユーザ使用可能領域はありません。

SD/SDHCメモリーカード・microSD/SDHCメモリーカード を取り付ける

SDメモリーカード／microSDメモリーカードはカメラ底面のSDカードスロットにセットします。

1. カメラ底面のSDカード室カバーを下図を参考に開けます。
2. SDメモリーカード／microSDメモリーカードの接触面が液晶モニター側になるようにして、
   SDメモリーカード／microSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. SDメモリーカード／microSDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカード／microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
   SDメモリーカード／microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

1．

2．

小さい挿入口がmicroSDメモリーカード用
大きい挿入口がSDメモリーカード用
接触面が液晶モニター方向になるように押し込みます。

◆ 新しいSDメモリーカード／microSDメモリーカードを使用される際は、
あらかじめSDメモリーカード／microSDメモリーカードのフォーマット（初期化）（P.22参照）をしてください。

◆ 撮影した画像に付けられるファイル名の番号（FILE○○○○）はSDメモリーカード／microSDメモリーカード内の画像を消去しても
連続してカウントされます。

◆ カメラがSDメモリーカード／micro SDメモリーカードを認識すると液晶モニターに ▶1 または ▶2 アイコンが表示されます。

● 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。

● SDメモリーカード／microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。

● すべてのSDメモリーカード／microSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。

● 他のカメラ等で撮影したファイルが保存されたSDメモリーカード／microSDメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。
必ずDVS A10FHDIRでフォーマットしてから使用してください。

SD/SDHCメモリーカード・microSD/SDHCメモリーカードを使用する前に

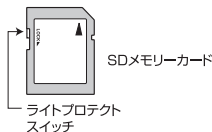
◆ 新しいSDメモリーカード／microSDメモリーカードSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット（初期化）してください。

◆ この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.4〜6に記載されていますので必ずよくお読みください。

◆ パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモリーカード／SDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカード／microSDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

◆ SDメモリーカード／microSDメモリーカードのフォーマット（初期化）はカメラで行います。
本製品にはSDメモリーカード／microSDメモリーカードをフォーマット（初期化）する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

◆ ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。

次ページに続く

前ページから続く
下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

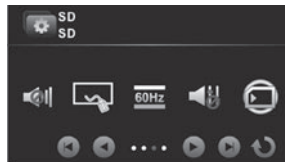
パソコンでSDメモリーカード／microSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

- SDメモリーカード／microSDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。
  また、SDメモリーカード／microSDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリーカード／microSDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリーカード／microSDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。
  その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

メモリーカードの保存先切り替え

装着したSDメモリーカードとmicroSDメモリーカードを切り替えます。
切り替えたいずれか一つのメモリーカードにカメラで記録されたファイルが保存されます。
また、再生時も選択したメモリーカードから再生されます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 「 モード」アイコンをタッチして、「基本設定モード 」にします。
4. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して「SD 」を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターの「 」アイコンをタッチして、「 SD」アイコンを選択し、タッチします。
5. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - ：microSDメモリーカードに保存または保存されたファイルを再生。
   - ：SDメモリーカードに保存または保存されたファイルを再生。
6. 撮影画面に戻ります。

3.

5.

◆ ファイルは選択したSDメモリーカード／microSDメモリーカードのいずれか一つに記録されます。
使用するメモリーカードに切り替えてからカメラを使用してください。

◆ SDメモリーカードとmicroSDメモリーカードをセットして動画を連続撮影すると、たとえばSDメモリーカードのデータ量が一杯になった場合、自動的にmicroSDメモリーカードに保存先を移行します。また、保存先の切り替え時に空白時間が生じますのでご注意ください。

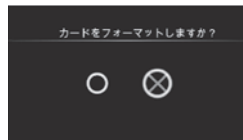
メモリーのフォーマット

メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。

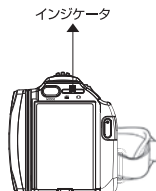
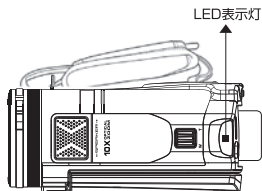
- SDメモリーカード／microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカード／microSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカード／microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。
（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ（P.19参照）でロックしている場合、フォーマットは行われません。

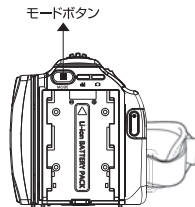
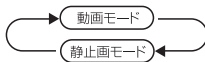
1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 「 モード」アイコンをタッチして、「基本設定モード 」を表示します。
4. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して「フォーマット 」を選択し、OKボタンを押すか、
液晶モニターの「 」アイコンをタッチして「 フォーマット」アイコンを選択し、タッチします。
5. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して選択し、OKボタンを押すか、
液晶モニターの「 ○ ✕ 」アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
○ : フォーマットします。
✕ : フォーマットしません。
6. 「フォーマット完了」表示されましたら。OKボタンを押すか、
「○」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

3.

5.

◆ フォーマットはSDメモリーカード／microSDメモリーカードを個別に行います。
使用するメモリーカードに切り替え（P.21「メモリーカードの切り替え」参照）てからフォーマットしてください。
◆ フォーマットしますと全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。
◆ 削除されたデータ（画像等）は元に戻りませんのでご注意ください。
◆ 設定により表示は異なります。

LED表示灯･インジケータの表示

名 称	色	説　明
LED表示灯	緑の点灯	電源が入っています。
	赤の点灯	充電中
	赤･緑の点滅	動画撮影中です。
インジケータ	緑の点灯	動画モードあるいは静止画モードの区別を表示します。
LEDフラッシュ	赤の点滅	セルフタイマーが作動中です。2秒前から点滅が早くなります。

モードの変更

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モードに切り替わります。

◆ カメラの電源をオンにすると「動画モード」で立上がります。
◆ モードアイコン（動画・静止画・基本設定）にタッチしてもモード変更します。
◆ インジケータの点灯で動画モード･静止画モードを区別します。

日付／時刻の設定

カメラを使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 「 モード」アイコンをタッチして、「基本設定モード 」を表示します。
4. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して「日付／時刻 」を選択し、OKボタンを押すか、
液晶モニターの「 」アイコンをタッチして「 日付／時刻」アイコンを選択し、タッチします。
5. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押すか、
液晶モニターの「 」アイコンをタッチして数値を合わせます。
6. 選択している数値（緑色の文字）が変更できます。
マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押すか、
液晶モニターの「 」アイコンをタッチして次の項目に移動します。
7. 各項目を順次調整します。
8. OKボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチして決定します。
9. 「 戻る」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

2.

5.

◆ 日付／時刻は初期設定（リセット）しても初期設定には戻りません。
◆ 設定により表示は異なります。
◆ 日付／時刻は、動画・静止画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

言語の設定（初期設定:日本語）

液晶モニターに表示する言語を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 「 モード」アイコンをタッチして、「基本設定モード 」を表示します。
4. マルチ選択ボタンの右または左ボタン（以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下ボタンと記載）を押して「Language（言語） JPN 」を選択し、OKボタンを押すか、
液晶モニターの「 」アイコンをタッチして「 JPN 言語」アイコンを選択し、タッチします。
5. 右または左ボタンを押して言語を選択してOKボタンを押すか、
液晶モニターの「 JPN 言語」アイコンをタッチして言語を選択します。

   選択可能な言語は、
   英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、トルコ語、タイ語、
   アラビア語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語です。
6. OKボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチして決定します。
7. 「 戻る」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

2.

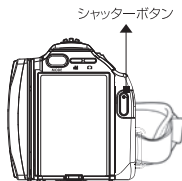
5.

◆ 日本語以外の言語を使用中に「初期設定に戻す」（リセット）すると、言語も日本語に戻りますのでご注意ください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

動画の撮影

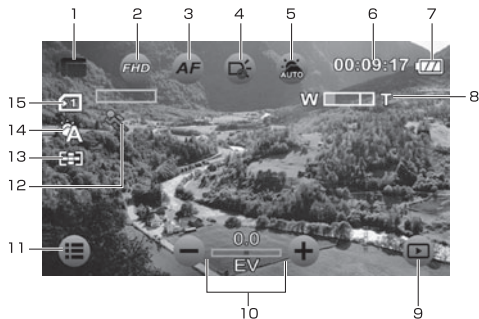
1. カメラの電源をオンにします。
   本機は「動画モード」で起動します。
2. レンズカバースライドボタンを下げてレンズカバーを開いてください。
3. 液晶モニターで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用し構図を決めます。
4. シャッターボタンを押して、撮影を開始します。
5. シャッターボタンをもう一度押すと撮影が終了し、
   個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。
6. 撮影が終了しましたらレンズ、イメージセンサーの保護の為に、レンズカバーを閉じてください。

● 動画1ファイルの最大サイズは、約3.8GBです。

◆ 録画中に液晶モニターカバーを閉じると録画を終了しますのでご注意ください。
液晶モニターを表面にして液晶モニターカバーを閉じた場合は、録画を続けます。

◆ 撮影開始または、約10秒操作しないと液晶画面のアイコン表示が必要最低限となります。
再度液晶モニターのいずれかをタッチすると全てのアイコンが再表示されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

動画モードの操作画面

1		モード(動画)
2		動画サイズ(FHD)
3		撮影距離(オートフォーカス)
4		LEDライト(オフ)
5		シーンモード(自動)
6		撮影可能時間(目安)
7		電池残量
8		ズーム
9		再生
10		露出補正(0.0)
11		メニュー
12		動体検出(オン)
13		測光方式(平均測光)
14		ホワイトバランス(自動)
15		メモリーカードの選択(SDメモリーカード)

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ズーム撮影

光学10倍のズームが搭載されています。

ズームボタンをＴ側に押すとズームイン（拡大）します。
ズームボタンをW側に押すとズームアウト（縮小）します。

デジタルズームの倍率の設定をします。

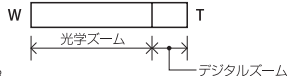
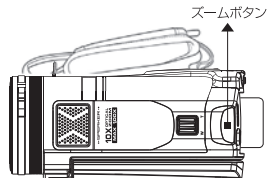
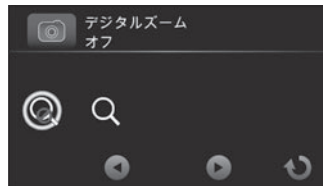
1. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して「デジタルズーム 」を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターの「 」アイコンをタッチして「 デジタルズーム」アイコンを選択し、タッチします。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択してOKボタンを押して決定するか、液晶モニターのアイコンをタッチして選択します。
   - ：デジタルズームしません。（初期設定）
   - ：10倍デジタルズームします。
     最大倍率 ：動画10倍、静止画10倍のデジタルズームします。
4. モードボタンを押して動画撮影画面に戻ります。
5. 「 戻る」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

◆ 光学ズームが10倍になりましたら一度ズームボタンから指を離し、再度ズームボタンをT側に押すとデジタルズームが動作します。ズームアウト（縮小）の場合も同様です。

◆ デジタルズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

3.

4.

動画サイズ（初期設定：FHD）

動画のサイズを選びます。

1. 液晶モニターの「 動画サイズ」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - FHD　：1920×1080　30P
   - HD60：1280×720　60P
   - HD30：1280×720　30P
3. 動画撮影画面に戻ります。

2.　動画サイズアイコン

2.

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカード／microSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。

◆ 画角はサイズにより異なります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

撮影距離（初期設定：AF）

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 液晶モニターの「AF」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - AF AF（動画）　：オートフォーカスで撮影します。
   - AF AF標準（静止画）：オートフォーカスで撮影します。
   - マクロ　：近接（マクロ）撮影をします。
   - 固定　：フォーカスを固定します。
3. 動画撮影画面に戻ります。

	撮影距離	備考
標　準	約 0.15m～∞（T）	動画
標　準	約0.15m～∞（W） 約 0.9 m ～ ∞（T）	静止画
マクロ	約 10cm（W） 約 80cm（T）	静止画専用

◆ マクロは、静止画専用メニューです。

◆ AF固定は被写体を画面中央にして「AF固定」アイコンをタッチします。AFが固定され、例えば被写体の前を人が通っても被写体に合焦します。カメラを動かした場合等、撮影状況により被写体に合焦しない場合があります。

2.　「撮影距離」アイコン

2.動画

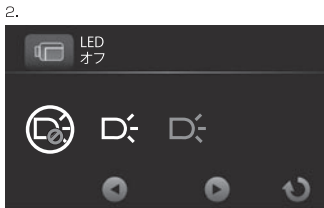
2.静止画

内蔵LEDムービーライトの使用（初期設定：オフ）

内蔵LEDムービーライトのモードを設定します。

1. 上ボタンを押して設定します。
   上ボタンまたは液晶モニターの「LED」アイコンをタッチして
   内蔵LEDライトのモードを選択します。
   切替える場合は、上ボタンを押すごとに設定がかわります。
2. 下記のいずれかを選択し、設定します。
   オフ：どんな状況でも発光しません。
   オン：どんな状況でも発光します。
   IR　：赤外線を発光します。暗闇等での撮影時に選択します。
3. 動画撮影画面に戻ります。

1.　「内蔵LEDライト」アイコン

2.

◆ 内蔵LEDムービーライトの有効範囲は約1mです。
◆ IR LEDライトの有効範囲は、約1m～3m（W）、1m～3m（T）です。
◆ LEDムービーライトのオンあるいはIR LEDライトを選択した場合、撮影待機中も発光していますので電池の消耗に注意してください。

動画モード

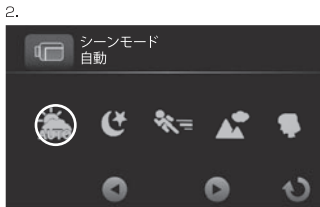
シーンモード（初期設定：自動）

撮影するシーンを設定し、より簡単に雰囲気のある撮影をします。

1. 液晶モニターの「 シーンモード」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。
   - 自動　：自動で最適に調整します。
   - 夜景　：夜景の撮影に適しています。
   - スポーツ　：スポーツ等、早い動きの撮影に適しています。
   - 風景　：遠景の撮影に適しています。
   - ポートレイト：人物の撮影に適しています。
   - 夕景　：夕暮れ、日の出時の撮影に適しています。
   - 雪・浜辺　：雪景色や快晴の浜辺の撮影に適しています。
   - 花　：草花の撮影に適しています。
   - 花火　：花火の撮影に適しています。
   - 逆光　：逆光時の撮影に適しています。
   - 肌色　：顔色を美しく撮影します。
3. 撮影画面に戻ります。

1.

シーンモードアイコン

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

露出補正（初期設定：0.0）

手動で露出値を変更します。被写体が暗く潰れる場合は+（明るく）補正し、明るすぎる場合はー（暗く）補正します。
補正はー2.0〜+2.0EV（1/3EVステップ）の間で調整します。

〈液晶モニターをタッチして露出補正する場合〉

A-1. 液晶モニターをタッチして露出補正画面を表示し、「ーまたは＋」アイコンにタッチして設定します。

A-2. 設定の約10秒後に露出補正画面は自動的にオフになり設定が完了します。

〈マルチ選択ボタンで露出補正をする場合〉

B-1. 撮影画面の時、左または右ボタンを押して露出補正画面を表示します。

B-2. 右または左ボタンを押して露出調整をします。

B-3. 設定の約10秒後に露出設定画面は自動的にオフになり設定が完了し、撮影画面に戻ります。

露出補正画面

「露出補正」アイコン

◆ 逆光での撮影等の場合、手動で露出補正をし、被写体を最適な明るさに近づけます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画の再生

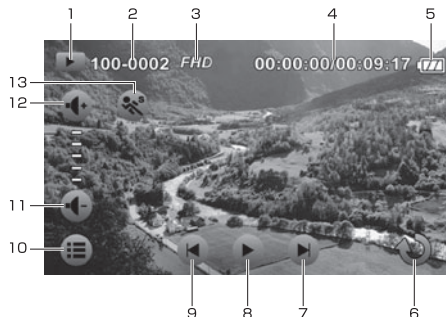
1. 動画モード時、再生ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチすると、
   保存された動画の最初のシーンが液晶モニターに6画面のサムネイル表示されます。
2. 右または左ボタンを押して（赤色の枠を移動）ファイルを選択し、OKボタンを押すか
   液晶モニターのサムネイル表示をタッチして再生する動画を選択します。
   動画の最初のシーンが全画面表示されます。
3. OKボタンを押すか、液晶モニターの「 」アイコンをタッチすると再生を開始します。
   ・右ボタンを押すと早送りされます。
   右ボタンを押すごとに早送りの速度が64倍まで調整されます。
   あるいは「 早送り」アイコンにタッチするごとに64倍まで調整されます。
   ・左ボタンを押すと早戻しされます。
   左ボタンを押すごとに早戻しの速度が64倍まで調整されます。
   あるいは「 早戻し」アイコンにタッチするごとに64倍まで調整されます。
   ・再生中および早送り／早戻し中にOKボタンを押すか、
   「 一時停止」アイコンをタッチすると一時停止します。
   再度、OKボタンを押すか、「 再生」アイコンをタッチすると再生を開始します。
4. 再生中にズームボタンを押すか、液晶モニターの「 」または「 」アイコンをタッチすると
   音量を調整します。
5. 動画再生中に上ボタンを押すか、「 スロー再生」アイコンをタッチすると
   スローモーション再生します。
6. 再生を終了する時は、再生ボタンを押して撮影画面に戻ります。
7. あるいは、液晶モニターの「 戻る」アイコンをタッチすると再生を終了し、
   動画ファイルのサムネイル表示に戻ります。
   再度「 戻る」アイコンをタッチすると、撮影画面に戻ります。

1. 6画面サムネイル表示

動画再生モードアイコン

3.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。
◆ 動画モードの時、動画を再生します。静止画モードの時、静止画を再生します。

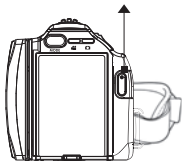
動画再生モードの操作画面

1		動画再生モード
2	100-0005	フォルダ／ファイル番号
3	FHD	動画サイズ（FHD）
4	00:00:17/00:09:17	動画再生時間／動画撮影時間
5		電池残量
6		戻る
7		次のファイルへ／早送り
8		再生／一時停止
9		前のファイルへ／早戻し
10		メニュー
11		音量調整（小）
12		音量調整（大）
13		スローモーション再生

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。「動画モード 」で起動します。
   モードボタンを押すか、液晶モニターのモードアイコンをタッチして「静止画モード 」にします。
2. レンズカバースライドボタンを下げてレンズカバーを開いてください。
3. 液晶モニターで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用し構図を決めます。
4. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかり構えてシャッターボタンを
   完全に押し込んで撮影します。
5. 静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。
6. 撮影が終了しましたらレンズ、イメージセンサーの保護の為にレンズカバーを閉めてください。

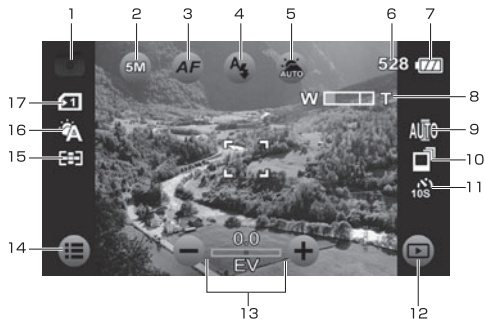
静止画モード

シャッターボタン

◆ シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。

◆ 半押し状態の時、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント・露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。
ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離（P.31参照）で撮影されているかどうかご確認ください。

◆ 約10秒操作しないと液晶画面のアイコン表示が必要最低限となります。再度液晶モニターのいずれかをタッチすると全てのアイコンが再表示されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モードの操作画面

1		静止画モード
2	5M	静止画サイズ(5M)
3	AF	撮影距離(オートフォーカス)
4		LEDフラッシュ(オフ)
5	AUTO	シーンモード(自動)
6	528	静止画撮影可能枚数(目安)
7		電池残量
8	W T	ズーム
9	AUTO	ISO感度(自動)
10		撮影モード(連写)
11	10S	セルフタイマー(10秒)
12		再生
13	0.0 EV	露出補正(0.0)
14		メニュー
15		測光(平均測光)
16		ホワイトバランス(自動)
17		メモリーカードの選択(SDメモリーカード)

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画サイズ(初期設定:5M)

静止画のサイズを選びます。

1. 液晶モニターの「静止画サイズ」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。
   - 16M:16M 4608×3456(ソフトウェア補間)
   - 12M:12M 4000×3000(ソフトウェア補間)
   - 8M :8M 3200×2400(ソフトウェア補間)
   - 5M :5M 2592×1944
   - 3M :3M 2048×1536
3. 静止画撮影画面に戻ります。

2. 「静止画サイズ」アイコン

2.

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカード/microSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

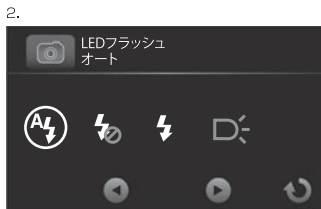
◆ 静止画専用の機能です。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

内蔵LEDフラッシュの使用（初期設定：発光禁止）

内蔵LEDフラッシュのモードを設定します。

1. 上ボタンを押すか、液晶モニターの「 LEDフラッシュ」をタッチして
   内蔵LEDフラッシュモードを切り替えます。
   マルチ選択ボタンで切替える場合は、上ボタンを押すごとに設定がかわります。
2. 下記のいずれかを選択し、設定します。
   - 自動　　　：被写体周辺の光量が不足している場合、自動的に発光します。
   - 発光禁止　：どんな状況でも発光しません。博物館等の発光が禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている撮影時に選択します。
   - 強制発光　：どんな状況でも発光します。逆光等での撮影時に選択します。
   - 赤外線発光：赤外線を発光します。暗闇等での撮影時に選択します。
3. 静止画撮影画面に戻ります。

1.

2.

● 内蔵LEDフラッシュの有効範囲は約0.5～1mです。

静止画モード

ズーム撮影

P.29「ズーム撮影」をご覧ください。

撮影距離

P.31「撮影距離」をご覧ください。

露出補正

P.34「露出補正」をご覧ください。

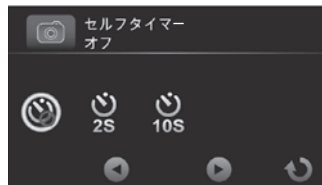
静止画モード

セルフタイマー（初期設定：オフ）

セルフタイマーを設定します。

1. 液晶モニターの「メニュー」アイコンをタッチします。
2. 右または左ボタンを押して「セルフタイマー 」を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターの「 」アイコンをタッチして「 セルフタイマー」アイコンを選択し、タッチします。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択するか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして選択します。
   - オフ :セルフタイマーを使用しません。
   - 2秒 :シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。
   - 10秒:シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。
4. 液晶モニターの「 戻る」アイコンをタッチするとセルフタイマーが設定され、
   静止画撮影画面に戻ります。

2.

3.

- ◆ 静止画専用の機能です。
- ◆ 電源をオフにすると、セルフタイマーの設定はオフに戻ります。
- ◆ 撮影の約2秒前からLEDフラッシュ内の赤色LEDの点滅が早くなります。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モード

静止画の再生

1. 静止画モード時、再生ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチすると、保存された静止画が液晶モニターに6画面のサムネイル表示されます。
2. 右または左ボタンを押して（赤色の枠を移動）ファイルを選択し、OKボタンを押すか液晶モニターのサムネイル表示をタッチして再生する静止画を選択します。静止画が全画面表示されます。
3. ズームボタンをT側に押して拡大するか、「 T ズーム」アイコンをタッチすると静止画が拡大表示されます。最大10倍の拡大表示をします。
   ズームボタンをW側に押して縮小するか、「 W ズーム」アイコンをタッチすると静止画が縮小表示されます。（拡大表示後に有効です。）
4. 静止画を拡大表示すると液晶モニターに4方向の矢印アイコンが表示されます。
   上下左右ボタンを押すか、 各方向のアイコンをタッチすると静止画の拡大部分を移動できます。液晶モニター右下にナビゲーション画面が表示されます。
5. 静止画拡大表示中に液晶モニターの「 戻る」アイコンをタッチすると拡大再生を終了し、一倍表示に戻ります。
6. 再生を終了する時は、再生ボタンを押して撮影画面に戻ります。
7. あるいは、液晶モニターの「 戻る」アイコンをタッチするとサムネイル画面に戻ります。

静止画再生モードアイコン

1.

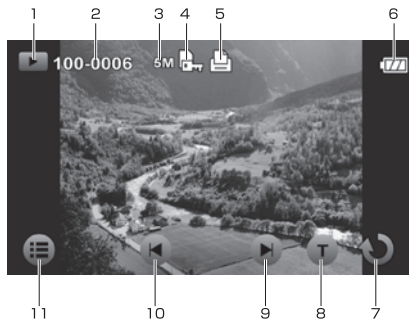
3.

4方向アイコン（左）

ナビゲーション画面

◆ 静止画モードの時、静止画を再生します。動画モードの時、動画を再生します。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モード

静止画再生モードの操作画面

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1	▶	静止画再生モード
2	100-0006	フォルダ／ファイル番号
3	5M	静止画サイズ（5M）
4		ファイル保護
5		DPOF
6		電池残量
7		戻る
8	T	拡大表示
9		次ファイルへ移動
10		前ファイルへ移動
11		メニュー

機能設定　動画メニュー

動画メニュー

動画モードの設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。本機は「動画モード 」で起動します。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

画質（初期設定：スーパーファイン）

動画の画質を選びます。

1. 「画質 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - スーパーファイン：最高画質で動画を撮影します。
   - ファイン：高画質で動画を撮影します。
   - 標準：標準画質で動画を撮影します。
3. 動画メニューに戻ります。

● 高画質にするとデータ容量が大きくなり、同じSDメモリカード／microSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。（静止画の場合、撮影できる枚数が少なくなります。）

◆ 動画の初期設定はファインです。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

プレ録画（初期設定：オフ）

動画のプレ録画をします。
撮影開始時に録画ボタンを押して撮影を開始します。
再度、録画ボタンを押すと撮影を終了します。
録画は、撮影開始時の約10秒前から開始されますのでシャッターチャンスを逃しません。

1. 「プレ録画 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：プレ録画を行いません。
   - オン：プレ録画を行います。
3. 動画メニューに戻ります。

1.

2.

◆ 定点撮影・動体検出設定中は、プレ録画はできません。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

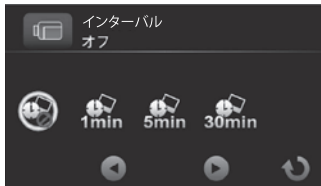
インターバル撮影（初期設定：オフ）

カメラを三脚等で固定して、設定した時間ごとに1コマ撮影します。
夕景や花の開花等を撮影します。録画ボタンを押して撮影を開始します。

1.「インターバル撮影　」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
アイコンをタッチして決定します。
   - オフ　：予約撮影を行いません。
   - 1分　：1分間隔で1コマ撮影をします。
   - 5分　：5分間隔で1コマ撮影をします。
   - 30分：30分間隔で1コマ撮影をします。
3. 動画メニューに戻ります。

・撮影は、シャッターボタンを押して開始します。
再度シャッターボタンを押すと撮影を終了します。

1.

2.

● 電池残量に注意してください。

◆ プレ録画設定中は、定点撮影はできません。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動体検出（初期設定：オフ）

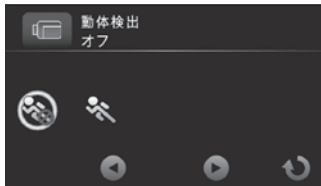
被写体の動きを検出すると自動的に撮影を開始し、動きが約5秒以上止まると自動的に撮影を停止します。

1. 「動体検出 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：動体検出を設定しません。
   - オン：動体検出を設定します。
3. 動画メニューに戻ります。

・撮影は、動きを検出すると開始します。
動きが検出されなくなると撮影を停止します。再度、動きを検出すると撮影を再開します。
撮影を終了する場合は、レンズカバーを閉じて撮影が停止してから設定をオフにしてください。

◆ 継続して撮影された場合、それぞれ別のファイルとして保存されます。
◆ 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。
◆ 電池残量・SDメモリーカード／microSDメモリーカード残量に注意してください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

録画開始

動きを検出すると赤のインジケーターが上昇し、録画を開始します。

赤のインジケーターの表示が消えた場合自動的に録画を停止します。

ホワイトバランス（初期設定：自動）

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じて
ホワイトバランスを調整し、希望の色合いに近づけます。

1. 「ホワイトバランス 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。

   自動　　：自動的に調整されます。
   白熱灯　：屋内で電球下での撮影に適しています。
   太陽光　：屋外の太陽下の撮影に適しています。
   曇り　　：屋外で曇りあるいは日陰での撮影に適しています。
   蛍光灯　：屋内で蛍光灯下での撮影に適しています。
   カスタム：この機能は使えません。
3. 動画メニューに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

測光方式（初期設定：平均測光）

露出の測光方法を設定します。

1.「測光方式 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 平均測光　：中央部周辺を測光します。
   - 中央測光　：平均的に測光します。
   - スポット測光：画面中央部を測光します。
3. 動画メニューに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

色効果（初期設定：オフ）

色効果を加えることで。印象の異なる写真にします。

1.「色効果 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ　：効果を加えません。
   - アート　：アート調の画像にします。
   - セピア　：セピア画像にします。
   - ネガ　：ネガ画像にします。
   - 白黒　：白黒画像にします。
   - ビビット：より鮮鋭な画像にします。
3. 動画メニューに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

デジタルズーム

P.29「ズーム撮影」をご覧ください。

動画再生メニュー

動画再生の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。本機は「 動画モード 」で起動します。
2. 再生ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチします。保存された動画ファイルが液晶モニターに6画面のサムネイル表示されます。
3. 右または左ボタンを押して(赤色の枠を移動)ファイルを選択し、OKボタンを押すか液晶モニターのサムネイル表示をタッチして
   再生する動画ファイルを選択します。動画ファイルが全画面表示されます。
4. 「 メニュー」アイコンをタッチします。
5. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

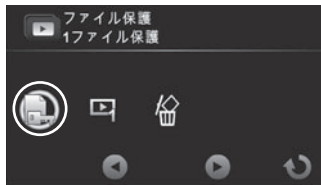
ファイル保護

誤って削除されないようにファイルを保護します。

1. 「ファイル保護 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンにタッチします。

1ファイル保護 ：選択したファイルのみ保護します。
1ファイル保護解除：選択したファイルの保護を解除します。
全て保護 ：全ての動画ファイルを保護します。
全て保護解除 ：全ての動画ファイルの保護を解除します。

1.

2.

〈「1ファイル保護」を選択した場合〉

A-1.「1ファイル保護」の設定前に保護するファイルを選択して表示します。

A-2.「1ファイル保護」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンをタッチします。

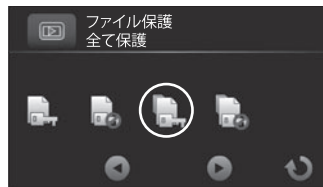
A-3. 液晶モニター上部に「 ファイル保護」アイコンが表示されます。

〈「全て保護」を選択した場合〉

B-1.「全て保護」を選択してOKボタンを押すか、アイコンをタッチします。

B-2. すべてのファイルに「 保護」アイコンが表示されます。

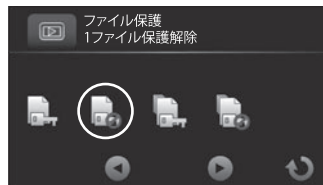
A-3.

B-1.

◆ 保護されたファイルには アイコンが表示されます。
◆ 6画面のサムネイル表示では「 保護」アイコンが表示されませんのでご注意ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

〈「1ファイル保護解除」を選択した場合〉

C-1. 「1ファイル解除」の設定前に保護解除するファイルを選択して表示します。

C-2. 「1ファイル保護解除」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンをタッチします。
「 保護」アイコンが消えます。

C-1.

〈「全て保護解除」を選択した場合〉

D-1. 「全て保護解除」を選択してOKボタンを押すか、アイコンをタッチします。
すべてのファイルから「 保護」アイコンが消えます。

D-1.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

再生方法

動画ファイルの再生モードを設定し、サブメニューを表示します。

1.「再生方法 」を選択します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチします。

- 1ファイル再生　：選択した動画ファイルを1回再生します。
- 全ファイル再生　：全ての動画ファイルを1回再生をします。
- 1ファイル･リピート：選択した動画ファイルをリピート再生をします。
- 全ファイル･リピート：全ての動画ファイルをリピート再生をします。

3.「 戻る」アイコンをタッチして再生画面に戻ります。

4. OKボタンを押すか、「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

〈「1ファイル再生」を選択した場合〉

A-1. 再生する動画ファイルを選択して、OKボタンを押すか「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

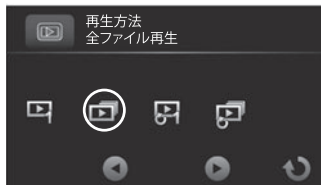
〈「全ファイル再生」を選択した場合〉

B-1. OKボタンを押すか、「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

B-2. 再度OKボタンを押すか、「 停止」アイコンをタッチすると再生を停止します。

1.

A-1.

B-1.

機能設定　動画再生メニュー

〈「1ファイル・リピート」を選択した場合〉

C-1. 再生する動画ファイルを選択して、OKボタンを押すか、
「 ▶ 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

C-2. 再生を終了する場合は、再生ボタンを押すか、「 戻る」アイコンにタッチします。

〈「全ファイル・リピート」を選択した場合〉

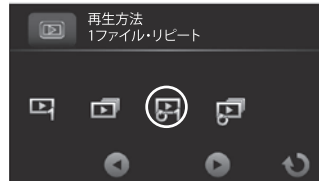
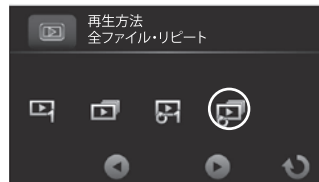
D-1. OKボタンを押すか、「 ▶ 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

D-2. 全ファイル・リピート再生を終了する場合は、再生ボタンを押すか、
「 戻る」アイコンにタッチします。

◆ リピート再生を停止する場合は、OKボタンを押すか、「 停止」アイコンをタッチします。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

C-1.

D-1.

削除

ファイルを削除します。

1.「削除 」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンをタッチします。

1ファイル削除	:選択したファイルを削除します。
全てのファイルを削除する	:すべてのファイルを削除します。
選択削除	:選択したファイルを削除します。

- ファイルは、一度削除すると元に戻せません。削除する前によく確認し、必要に応じてバックアップを取ってください。
- 保護を施したファイルは削除されません。
  保護を施したファイルを削除するには、ファイルの保護を解除する必要があります。
- 設定により表示されるアイコンは異なります。

〈「1ファイル削除」を選択した場合〉

A-1.「削除」設定の前に削除するファイルを選択して表示します。

A-2.「1ファイル削除」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンにタッチします。

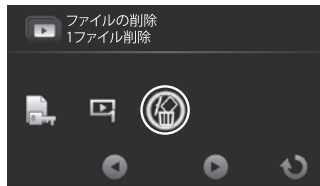
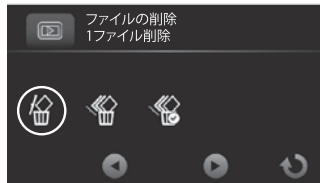
A-3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

:削除します。

:削除しません。

1.

2.

A-3.

〈「全て削除」を選択した場合〉

B-1. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

- ◎ : すべてのファイルを削除します。
- ⊗ : 削除しません。

B.

B-1.

〈「選択削除」を選択した場合〉

C-1. サムネイル表示されます。
左または右ボタンを押してファイルを選択（赤色の枠で囲まれた）してOKボタンを押すかファイルをタッチします。
✓ アイコンが表示されます。
さらに他のファイルを削除する場合はC-1.を繰り返します。誤って選択した場合は、再度タッチすると解除されます。

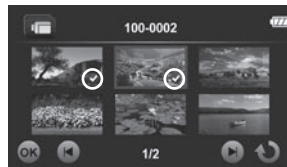
C-2.「OK」アイコンをタッチします。

C-3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

- ◎ : 選択したファイルを削除します。
- ⊗ : ファイルを削除しません。

C.

C-1.

C-3.

静止画メニュー

静止画モードの設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押すか、液晶モニターのモードアイコンをタッチして「 静止画モード」にします。
3. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
4. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

撮影モード（初期設定：標準）

静止画の撮影モードを選びます。

1. 「撮影モード 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - 標準：シャッターを一回押すと1枚撮影します。
   - 連写：シャッターを押している間、約1秒毎に連続撮影をします。
3. 静止画メニューに戻ります。

1.

2.

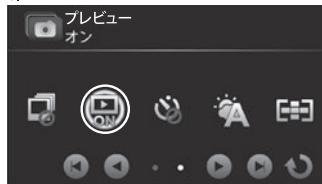
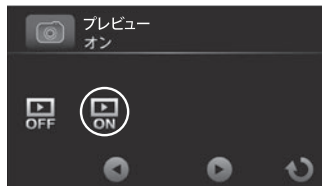
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

プレビュー（初期設定：1秒）

撮影後、撮影した画像を液晶モニターに表示します。

1.「プレビュー 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：表示しません。
   - 1秒：撮影画像を約1秒間表示します。
3. 静止画メニューに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

セルフタイマー

P.42「セルフタイマー」をご覧ください。

ホワイトバランス

P.49「ホワイトバランス」をご覧ください。

測光方式

P.50「測光方式」をご覧ください。

色効果

P.51「色効果」をご覧ください。

デジタルズーム

P.29「ズーム撮影」をご覧ください。

ISO感度（初期設定：自動）

手動でISO感度を変更します。

1. 「ISO感度 」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 自動 ：感度を自動で調整します。（ISO 100～400）
   - 100 ：屋外の晴天時での撮影に適しています。
   - 200 ：屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。
   - 400 ：屋外の曇天時、または光量が少ない室内でLEDフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。
   - 800 ：光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
   - 1600 ：光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
   - 自動800 ：感度を自動で調整します。（ISO 100～800）
   - 自動1600 ：感度を自動で調整します。（ISO 100～1600）
3. 静止画メニューに戻ります。

1.

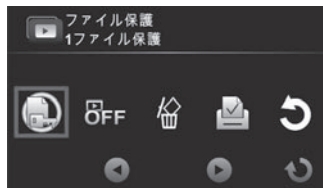
2.

◆ ISO感度を高くすると少ない光量で撮影が可能になりますが、ノイズが発生する場合があります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生メニュー

静止画再生の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押すか、アイコンをタッチして「静止画モード」にします。
3. 再生ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチします。保存された静止画ファイルが液晶モニターに6画面のサムネイル表示されます。
4. 右または左ボタンを押して（赤色の枠を移動）ファイルを選択し、OKボタンを押すか液晶モニターのサムネイル表示をタッチして
   再生する静止画ファイルを選択します。静止画ファイルが全画面表示されます。
5. 「 メニュー」アイコンをタッチします。
6. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

5.

ファイル保護

P.52「ファイル保護」をご覧ください。

スライドショー(初期設定:オフ)

全ての静止画を一定間隔で順次表示します。

1. 「スライドショー 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ:スライドショーしません。
   - オン:約5秒間隔で全ての静止画を表示します。
3. スライドショーが開始されます。
4. スライドショーを終了する場合はOKボタンを押すか、液晶モニターの「OK」をタッチします。

1.

2.

◆ スライドショーを停止すると設定はオフに戻ります。
◆ 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

削除

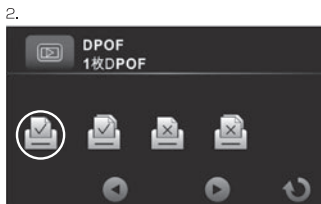
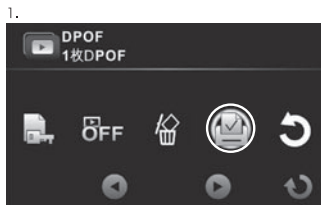
P.57「削除」をご覧ください。

DPOF

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SDメモリーカード／microSDメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店等にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 「DPOF 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - 1枚DPOF　：選択したファイルをDPOF設定します。
   - 全てDPOF　：すべてのファイルをDPOF設定します。
   - 1枚DPOF解除：選択したファイルのDPOF設定を解除します。
   - 全てDPOF解除：すべてのファイルのDPOF設定を解除します。

1.

2.

DPOF
1枚DPOF

〈「1枚DPOF」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押してDPOF設定する静止画を選択するか、
「◀ または ▶ 」アイコンをタッチします。

A-2. 「▼ または ▲ 」アイコンをタッチして枚数を設定します。

A-3. 「OK」アイコンをタッチして決定します。
「DPOF 」アイコンの表示確認してください。

A.

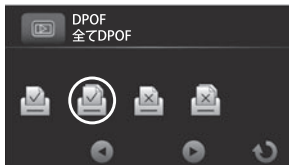
A-1.

A-2.

〈「全てDPOF」を選択した場合〉

B-1. 「▼ または ▲ 」アイコンをタッチして枚数を設定します。
例えば02枚にするとすべての静止画が2枚づつDPOF設定されます。

B.

B-1.

〈「1枚DPOF解除」を選択した場合〉

C-1. 「1枚DPOF解除」を設定する前に、DPOF設定する静止画を表示します。

C-2. 「1枚DPOF解除」を再度選択します。

C-3. DPOF設定が解除されます。「DPOF 」アイコンが消えたことを確認してください。

C-2.

〈「全てDPOF解除」を選択した場合〉

D-1. すべてのDPOF設定が解除されます。「DPOF 」アイコンが消えたことを確認してください。

D-1.

◆ DPOF設定された静止画には アイコンが表示されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

● この機能は、SDメモリーカード／microSDメモリーカードがセットされている場合のみ利用できます。

● 日付･時間は、カメラに設定されたものが印字されます。撮影前に日付／時刻を正確に設定してください。P.25をご覧ください。

● DPOFは静止画専用メニューです。

回転

静止画を左90度回転または右90度回転します。

1. 回転を選択する前に、回転する静止画を表示します。
2. 「回転 」を選択し、サブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 左90度：左に90度回転します。
   - 右90度：右に90度回転します。

2.

3.

◆ ファイルは90度回転して保存されます。

基本設定

基本設定メニュー

カメラの基本機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターの「 メニュー」アイコンをタッチします。
3. 「 モード」アイコンをタッチして、「基本設定モード 」を表示します。
4. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

2.

TV方式
PAL

TV方式（初期設定：NTSC）

テレビ出力信号をご使用の国･地域に合わせて切り替えます。

1. 「TV方式 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   - NTSC：日本･米国･カナダ･台湾
   - PAL　：ヨーロッパとアジア（日本･台湾を除く）
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

TV方式
PAL

NTSC
PAL

◆ NTSC（日本国内）のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がパラパラ流れたり、白黒になったりします。

◆ 撮影した画像の出力方式の選択です。撮影時には関係ありません。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ファイル番号(初期設定:リセット)

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1. 「ファイル番号 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   - リセット:ファイル番号を0001に戻します。
   - 連続　:ファイル番号を連続して付加します。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

ファイル番号
リセット

2.

◆ フォーマット後のファイル番号設定です。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

日付/時刻

P.25「日付/時刻の設定」をご覧ください。

フォーマット

P.22「メモリーのフォーマット」をご覧ください。

初期設定

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1.「初期設定 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、
アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
 ○ : 初期設定に戻します。
 ✕ : 初期設定に戻しません。
3. 操作が完了しました!が表示されます。OKボタンを押すか「○ 確認」アイコンをタッチします。
4. 撮影モードに戻ります。

1.

2.

3.

◆ 日付／時刻は初期設定(リセット)しても初期設定には戻りません。
◆ 日本語以外の言語を設定している場合でも、リセットすると日本語になりますのでご注意ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶輝度(初期設定:標準)

液晶モニターの明るさを調整します。

1.「液晶輝度 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   標準:標準に設定します。
   高　:明るめに設定します。
   自動:自動的に調整します。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

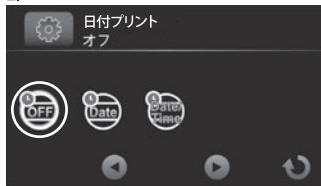
◆ 屋外等の明るい場所で「高」に設定すると液晶モニターが見やすくなりますが、電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

日付プリント（初期設定：オフ）

撮影する静止画の日付プリントを設定します。

1. 「日付プリント 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   - オフ　　　：日付プリントを設定しません。
   - 日付　　　：日付プリントを設定します。
   - 日付／時刻：日付／時刻プリントを設定します。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ 日付プリントの設定は、静止画専用メニューです。
◆ 設定により表示されるアイコンが異なります。

基本設定

自動電源オフ（初期設定：3分）

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、
カメラの電源が自動的にオフになります。

1.「自動電源オフ 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、
アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   - オフ: 自動的にオフしません。
   - 3分：3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
   - 5分：5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

言語

P.26「言語の設定」をご覧ください。

モニター表示(初期設定:標準)

液晶モニターに表示するアイコンを設定します。

1.「モニタ表示 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   標準　　　　:標準のアイコン表示になります。
   ヒストグラム:ヒストグラムを追加表示します。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

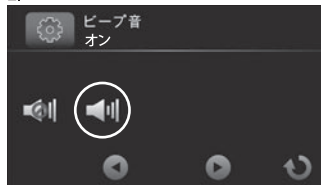
基本設定

ビープ音（初期設定：オン）

カメラのビープ音（操作音）の音量を設定します。

1.「ビープ音 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチし、下記のいずれかを選択し、決定します。
   - オフ：ビープ音をオフにします。
   - オン：ビープ音をオンします。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ビープ音をオフに設定すると、起動音・シャッター音もオフになります。

起動画面（初期設定：初期設定）

カメラの起動画面を設定します。

1. 「起動画面 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。
   - 初期設定　　：工場出荷のKenkoロゴを表示します。
   - ユーザー設定：任意の静止画を設定します。
3. ユーザー設定を選択すると静止画のサムネイル表示がされます。右または左ボタンを押して赤色の枠を移動して起動画面にする静止画を選択してOKボタンを押すか、静止画にタッチして決定します。
4. 次回の起動時より選択された起動画面になります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

3.

電源周波数（初期設定:50Hz）

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「電源周波数 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - 自動　：この機能は使えません。
   - 60Hz：電源周波数を60Hzにします。
   - 50Hz：電源周波数を50Hzにします。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

録音音量アップ（初期設定：オン）

動画撮影時、音量をアップして録音します。

1. 「 録音音量アップ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。
   - オフ：標準音量で録音します。
   - オン：音量をアップして録音します。
3. 基本設定モードに戻ります。

◆ オフに設定すると比較的小さな音も録音しますが、ノイズが大きくなりますのでご注意ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

SDメモリーカード

撮影した動画･静止画ファイルの保存先を選択します。
再生も選択したメモリーカードのファイルを再生します。

1. 「SDメモリーカード 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   microSDカード：microSDメモリーカードに保存します。
   SDカード　　：SDメモリーカードに保存します。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

2.

◆ SDメモリーカード、microSDメモリーカードを2枚セットした場合の保存先です。いずれかの1枚をセットした場合は、自動的にカメラが認識します。

アイコン表示時間（初期設定：オン）

液晶モニターに表示するアイコンを自動的に非表示にします。

1. 「アイコン表示時間 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し決定します。
   - オフ：液晶モニターのアイコン表示を常時表示します。
   - オン：液晶モニターのアイコンを約10秒後に一部非表示にします。
3. 基本設定モードに戻ります。

1.

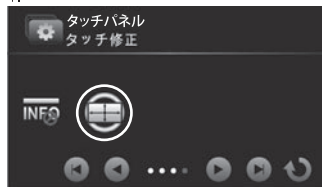
2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

タッチパネルの校正

タッチパネルの位置検出の補正をします。アイコンをタッチ時の動作が不確実な場合、校正してください。

1.「タッチパネル 」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 液晶モニターの左上に「✕」アイコンが表示されます。「✕」アイコンをタッチしてください。
同様に右上、左下、右下の順に「✕」アイコンもタッチしてください。
3. すべてのアイコンをタッチすると位置補正が完了し、撮影モードになります。

1.

2.

静止画のプリント

静止画のプリント

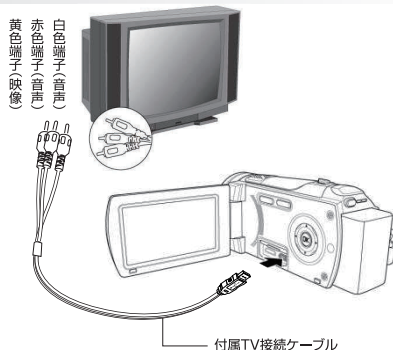
本機はDPS（ダイレクトプリントシステム）機能を装備していません。
静止画のプリントは、付属のUSB-PC接続ケーブルでパソコンに接続またはSDカードリーダ（別売）を使用して
画像データをパソコンに取り込み、パソコンよりプリンターへ出力してください。
SDカードを直接プリンターに挿入（お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。）してプリントができるプリンターもございます。
SDカードをカメラ店等に持参してプリントする方法もあります。

◆ プリント方法はカメラ店等にご相談ください。

テレビとの接続

標準テレビとの接続

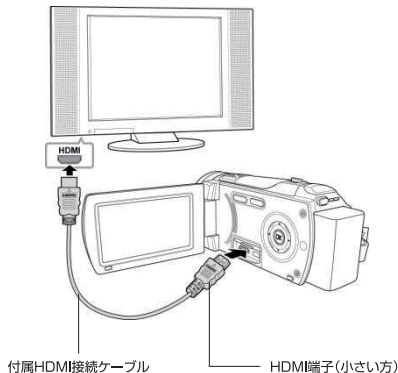
右図を参照して、付属のテレビ接続ケーブルを使用し、カメラをテレビに接続します。

1. テレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のTV接続ケーブルの小さいUSB端子（ミニUSB）をカメラに接続します。
3. もう一方の黄色端子をテレビの映像入力端子に
   白色端子（左）、赤色端子（右）を音声入力端子に接続します。
4. テレビの入力切り替えをビデオ入力にセットします。
5. カメラの液晶モニターには画像が表示されませんが、
   テレビ画面を見ながら右または左ボタンを押してファイルを選択し、操作してください。
6. 動画/静止画を再生します。再生の手順は液晶モニター使用時と同様です。

◆ テレビ入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
◆ NTSC（日本国内）のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がパラパラ流れます。P.69の「TV方式」をご覧ください。
◆ HD画質で記録されたデータも、SD（標準）画質で再生されます。
◆ テレビと接続されている場合もカメラの液晶モニターにアイコンは表示されますので動画撮影、静止画の撮影及びタッチパネルでの操作が可能です。

テレビとの接続

ハイビジョンテレビとの接続

ハイビジョンテレビに接続すると、動画や静止画を高解像度で表示することができます。
付属のHDMI接続ケーブルを使用し、右図を参照して、カメラとハイビジョンテレビを接続します。

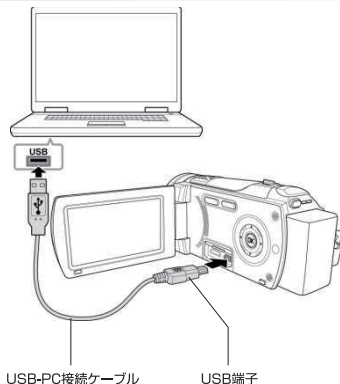
1. ハイビジョンテレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のHDMI接続ケーブルのプラグ（小さい方）をカメラのHD端子に接続します。
   もう一方の端子（大きい方）をハイビジョンテレビのHDMI入力端子に接続します。
3. ハイビジョンテレビの入力モードを接続したHDMI入力にセットします。
4. カメラの液晶モニターには画像が表示されませんが、
   テレビ画面を見ながら右または左ボタンを押してファイルを選択し、操作してください。
5. 動画/静止画を再生します。再生の手順は液晶モニター使用時と同様です。

◆ ハイビジョンテレビの入力端子の場所、使用方法はお使いのハイビジョンテレビの取扱説明書をご確認ください。
◆ ハイビジョンテレビと接続されている場合もカメラの液晶モニターにアイコンは表示されますので動画撮影、静止画の撮影及びタッチパネル操作が可能です。

パソコンとの接続

カメラとパソコンの接続

パソコンに接続する

右図を参考に付属のUSB-PC接続ケーブルを使用し、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子（ミニUSB）をカメラに接続します。
3. もう一方のUSB端子（大きい）をパソコンに接続します。
   カメラの液晶モニター表示は「USB接続」になります。
   初めて接続した場合、パソコンのモニターに
   「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と小さく表示され、
   しばらくして「デバイスを使用する準備が出来ました」と小さく表示されます。
4. 「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」
   →「DCIM」→「100MEDIA」の順にクリックします。
   「100MEDIA」に動画･静止画･音声メモのファイルがあります。

- ◆ SDメモリーカードとmicroSDメモリーカードは、別のリムーバブルディスクと表示されます。
- ◆ USBハブや拡張USB ポートで接続した場合、カメラが認識されなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ◆ USB-PC 接続ケーブルを外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。
- ◆ お使いのコンピューターのOS等により表示が異なる場合があります。

パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。
  内蔵メモリ、microSDメモリーカード／SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。
  このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

動画データの保存･再生

●保存する

撮影する画像をSDメモリーカード／microSDメモリーカードに記録します。
動画の解像度等を変更せずに保存するには、記録されたSDメモリーカード／microSDメモリーカードのまま保存してください。

●再生する

記録されたSDメモリーカード／microSDメモリーカードをカメラにセットし、
付属のHDMI接続ケーブルでHD(ハイビジョン)対応テレビに接続して再生します。P.85をご覧ください。

◆ SDメモリーカード／microSDメモリーカードでの動画データの保存の他、動画データをパソコンのハードディスクに保存し、
再生する時にデータをSDメモリーカード／microSDメモリーカードに戻して、カメラで再生する方法もあります。

◆撮影データのパソコンへの読み書きは、付属のUSB-PC接続ケーブルを使用する他に、
SDメモリーカード／microSDメモリーカードリーダー･ライター(別売)でもできます。パソコン操作の初心者の方におすすめいたします。

付属のソフトウェア

付属のソフトウェアの説明

ArcSoft Total Media Extreme

ArcSoft Total Media Extremeは、動画再生と簡単な編集をするソフトウェアです。

PDF Reader

CD-ROM内の取扱説明書を読むソフトウェアです。

User Manual（取扱説明書）

13カ国語の取扱説明書がCD-ROMに保存されています。付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
DVS-A10FHDRは、出荷先（国·地域）により仕様·付属品等が異なります。
CD-ROMに保存されている取扱説明書は、英語版を元に作成されていますので本書と一部異なる記載があります。
あらかじめご了承ください。

◆ 付属のCD-ROM内の「ArcSoft Total Media Extreme」はバンドル版です。
製品版のすべての機能が使用できるわけではございません。あらかじめご了承ください。

付属のソフトウェア

ArcSoft Total Media Extremeをインストール

起動しているアプリケーションソフトウェアは全て終了してください。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
自動的にインストール画面が立ち上がります。

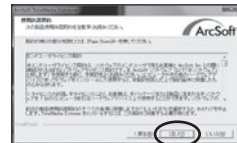
◆ 自動的にインストール画面が立ち上がらない場合は「デスクトップ」→「コンピュータ」の順にクリックして「CD-ROMドライブ」を開き、「Install CD」をダブルクリックしてください。

2. 「ArcSoft Total Media Extreme」をクリックします。
3. 「Total Media Extreme用のInstallShied Wizardへようこそ」が表示されます。
「次へ」をクリックします。
4. 「使用許諾契約」が表示されます。
内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。

次ページへ。

2.

3.

4.

付属のソフトウェア

5. ユーザー情報が表示されます。
   「ユーザ名」「シリアル番号」を入力します。
   シリアル番号はCD-ROMの袋に貼られたシールに記載されています。
   アルファベットは全て大文字の半角で入力します。UとV、MとW等に注意して「ー(ハイフン)」も入力します。
6. 「インストール先の選択」が表示されます。
   確認後、「次へ」をクリックします。
7. 「コンポーネントの選択」が表示されます。
   確認後、「次へ」をクリックします。
8. 「プログラムフォルダの選択」が表示されます。
   確認後、「次へ」をクリックします。
   インストールが開始されます。
9. 「InstallShied Wizardの完了」が表示されます。
   「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のチェックを確認して
   「完了」をクリックします。
   パソコンは自動的に再起動してソフトウェアを有効にします。
10. デスクトップに「Total Media Extreme 2」のアイコンが追加されます。

5.

6.

7.

8.

9.

Total Media Extremeの使用方法

〈動画を再生する場合〉

1. パソコンのデスクトップに表示された アイコンを ダブルクリックします。
2. 「Total Media Extreme 2」が立ち上がります。
3. アイコンをダブルクリックします。
   Total Media Theature 3が立ち上がります。
4. 「 ソースの選択」をクリックしてファイルを取り込みます。
   「 再生」をクリックします。

2.

4.

◆ 使用方法はソフトウェアのヘルプ(Total Media Theature 3のウィンドウ上で右クリック)をご覧ください。

〈動画ファイルを編集する場合〉

1. アイコンをクリックします。
2. 「ArcSoft Total Media ShowBiz」が表示されます。
3. 編集するファイルをドラッグ アンド ドロップします。
4. 例えば2つのファイルを接続する場合は、ドラックアンドドロップ後に「作成」→「ファイルの作成」をクリックすると開始されます。

1.

2.

3.

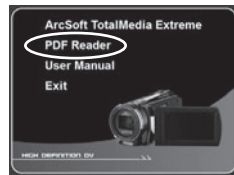
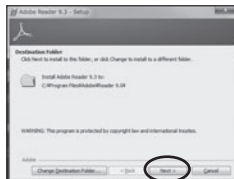
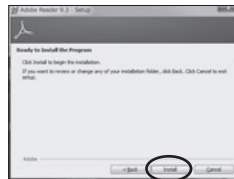
◆ 使用方法はソフトウェアのヘルプ(?をクリック)をご覧ください。

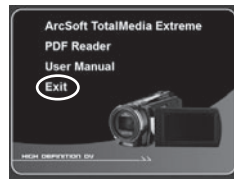
PDF Readerをインストール

お使いのパソコンに既にAdobe Readerがインストールされている場合はインストールは不要です。

1. 「PDF Reader」をクリックします。
   インストールの準備が始まります。
2. 「Destination Folder(インストール先)」が表示されます。
   確認後、「Next(次へ)」をクリックします。
3. 「Ready to Install Program(インストールの準備ができました)」が表示されます。
   「Install(インストール)」をクリックします。
   インストールが開始されます。
4. 「Setup Completed(完了)」が表示されます。
   「Finish(終了)」をクリックします。
5. 「Exit(出口)」をクリックしてからパソコンを再起動します。
6. デスクトップに「Adobe Reader 9」のアイコンが追加されます。

1.

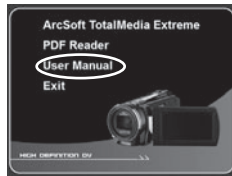
ArcSoft TotalMedia Extreme
PDF Reader
User Manual
Exit

2.

3.

4.

5.

◆ CD-ROMのPDF Reader(Adobe Reader)は、
英文でのインストールです。
Adobe社のホームページから日本語でインストールできます。
http://www.adobe.com./jp/
ダウンロードは無料ですが、インターネットへの接続環境が必要になります。インターネットへの接続料等は、お客様の負担となりますので、あらかじめご了承ください。

◆ お使いのOSに対応したAdobe Readerをダウンロードしてください。

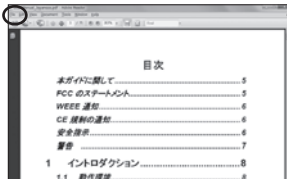
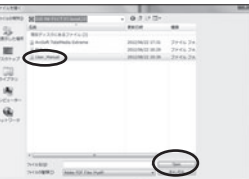
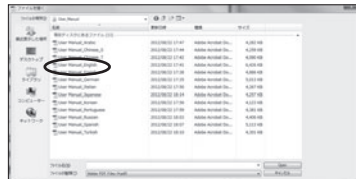
User Manual(取扱説明書)を使用する

1. 「User Manual」をクリックします。
2. 初めて使用する時には、
   「Adobe Reader License Agreement(ライセンス認証)」が表示されます。
   内容を確認後、同意する場合は「Accept(承認する)」をクリックします。
3. 「File(ファイル)」→「Open(開く)」の順にクリックします。
4. 「CDドライブ」を開きます。
5. 「User Manual」をダブルクリックすると13ヶ国語の取扱説明書の
   ファイルが表示されます。
6. 例えば「English」をダブルクリックすると英語の取扱説明書が表示されます。

1.

2.

3.

4.

5.

◆ 出荷先(国・地域)により仕様等が異なります。従いまして取扱説明書の説明範囲内容の一部が本書と異なります。あらかじめご了承ください。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.12参照)
	電池が正しくセットされていないのでは?	充電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.11参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンにしてください。(P.14、74参照)
	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.12参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やmicroSDメモリーカード/SDメモリーカードを取り外したので?	画像が保存される前に電池やSDメモリーカード/microSDメモリーカードを取り外さないでください。(P.17〜21参照)
セルフタイマーを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.12参照)
SDメモリーカード microSDメモリーカードが使用できない。	SDメモリーカードがロックされているのでは?	SDメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.17参照)
	SDメモリーカード/microSDメモリーカードに、他のカメラで撮影した画像が含まれているのでは?	SDメモリーカード/microSDメモリーカードを本製品でフォーマットしてください。(P.22参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激等を受けたのでは?	充電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.11参照)

記録可能時間／枚数の目安

動画（画質：ファイン）

動画サイズ	SDHCメモリーカード			
	4GB	8GB	16GB	32GB
FHD	42分41秒	1時間25分56秒	2時間52分33秒	5時間53分32秒
HD 60fhd	42分41秒	1時間25分56秒	2時間52分33秒	5時間53分32秒
HD 30fps	1時間4分2秒	2時間8分54秒	4時間18分50秒	8時間50分18秒

静止画

静止画サイズ	SDHCメモリーカード			
	4GB	8GB	16GB	32GB
5M	2450枚	4932枚	9904枚	20292枚
3M	3873枚	7796枚	15655枚	32075枚

◆ 撮影の状況･被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能時間／枚数に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。

◆ 記録可能時間／枚数に達する前に電池がなくなる場合がございます。

仕様

イメージセンサー	1/3.2型　CMOS
総画素数	513画素
有効画素数	503万画素（静止画時）
内蔵メモリー	32MB（ユーザー使用可能領域なし）
外部メモリー	SDメモリーカード　：32MB～2GBまで SDHCメモリーカード　：4GB～32GBまで microSDメモリーカード　：128MB～2GBまで microSDHCメモリーカード：4GB～32GBまで
レンズ	f = 4.6～46mm
撮影距離	標準　：約0.15m ～ ∞　動画 標準　：約0.15m ～ ∞（W） 約0.9m～∞（T） 静止画 マクロ：約10cm（W）、約80cm（T） 静止画専用
ファイル形式	動画：MOV（H.264）　静止画：JPEG
動画	サイズ：FHD　（1920×1080 30fps） HD60　（1280×720　60fps） HD　（1280×720　30fps）
静止画	サイズ：5M、3M
ズーム	光学ズーム　：10倍 デジタルズーム：10倍（最大）
液晶モニター	3.0型 TFTタッチパネル
音声形式	ADPCM
セルフタイマー	オフ、2秒、10秒
テレビ出力	HDMI、NTSC／PAL
シャッタースピード	1/2000～1/2秒（オート）

内蔵LEDムービーライト 内蔵IR LEDライト 内蔵LEDフラッシュ	有効範囲:約1m（W／T） 有効範囲:約1～3m（W／T） 有効範囲:約0.5～1m（W／T）
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯
露出補正	±2.0EV（1/3EVステップ）
電源	リチウムイオン充電池
出入力ポート	USB 2.0、HD出力端子
寸法	約56X62X122mm
重量	約367g（付属品、電池を含まず。ハンドストラップを含みます。）

■ 同梱品

カメラ本体、CD-ROM、ACアダプター、USB-PC接続ケーブル
HDMI接続ケーブル、TV接続ケーブル、ポーチ、リチウムイオン充電池
取扱説明書

仕様

パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン
●USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP(SP3) ／ Vista(32bit)／7(32bit/64bit)	
CPU	Intel Pentium 4 3.2GHz以上
メモリ	2GB以上
ハードディスクの空き容量	120MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ必須
ビデオカード	RAM 128MB以上
インターフェース	USB 2.0

動作保証について

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。

●USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

●左記動作環境は、最低限の条件を満たした仕様です。
ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。

●Mac OS X 10.6.3以降では動作いたしますがサポート外となります。
あらかじめご了承ください。